

表 A.2—活動・製品・サービス, これらに伴う環境側面, 環境目標, 目標 (target), 実施計画, 指標, 運用管理, 並びに監視及び測定の例

環境側面	環境目標	目標 (target)	実施計画	指標	運用管理	監視及び測定
活動：油燃焼ボイラの運転						
燃料油の使用	再生不可能な資源の使用量を削減する。	1年以内に(今年の年間使用量を基準にした)燃料油の使用量を20%削減する。	より効率の良い燃料バーナを設置する。	プロジェクト計画のマイルストーン ボイラの稼働時間当たりの燃料油の使用量	改良バーナの据付けプロセス 油使用量の記録のためのプロセス	プロジェクト計画の進捗状況の四半期ごとの評価 油使用率の月別追跡調査
温水の排出	水温上昇による流域の質への好ましくない環境影響を最小限にする。	2018年までに排出水の日平均温度を5℃下げる。	設備及び設計の技術者が温排水の熱を回収し再利用(すなわち, コージェネレーション)するために運転を再検討する。	排出水の日平均温度 流域の水質項目 流域の魚・動物の種の数及び多様性	水質のサンプリング及び分析のプロセス 魚・動物のサンプリング計画 コージェネレーションの操作プロセス 技術的管理	排出水の水温の連続監視 流域の水質の四半期ごとの監視
製品：エアコン						
電気の使用	消費者にエネルギーの保全を奨励する。	今年末までに昨年の運転温度を基準にして運転温度を5%下げる。	製品にエネルギー効率の資料を添付して配布し, エネルギー使用が過剰な場合の環境影響について消費者を教育する(例えば, コスト削減, 有害な環境影響の低減)。	エネルギーの保全に関する顧客の関心の高まり エネルギー効率の高い新製品に対する顧客の関心の高まり	効果的な製品材料の設計 電気エネルギーの使用 エネルギー効率に対する顧客の要望についての新製品設計における考慮	使用者の調査
固形廃棄物の発生	包装材使用量を減らし, 消費者の処分する固形廃棄物の発生を削減する。	2018年までに現在の製品ラインで包装材料の5%削減を達成する。	製品の包装を再設計する(エンジニアリング部門, 6か月)。 生産変更を実施する(6か月)。 試運転及びフル生産	ユニット当たりの包装材の量 製品ラインで使用する包装材料の削減率 消費者段階での固形廃棄物発生ユニット当たり容積の推定削減量	設計管理プロセス 製品包装プロセス	使用する包装材の量の四半期ごとの監視(例えば, 購入時の量からスクラップ量を引いたもの) 製品ラインで出荷される製品ユニット

表 A.2—活動・製品・サービス，これらに伴う環境側面，環境目標，目標 (target)，実施計画，指標，運用管理，並びに監視及び測定 の例 (続き)

環境側面	環境目標	目標 (target)	実施計画	指標	運用管理	監視及び測定
サービス：製品及びサービスの輸送及び流通 (運送機器のメンテナンス)						
窒素酸化物 (NO _x) の排出	運送機器メンテナンスの有効性を改善して，大気質に与える好ましい環境影響を高める。	2018 年までに NO _x の排出量の 25 %削減を達成する。	NO _x 削減のための主要なメンテナンスパラメータを特定する。 主要な NO _x 削減作業を採用したメンテナンス実施計画に変更する。 コンピュータプログラムによって，運送機器メンテナンススケジュールを最適化する。	メンテナンスの定時実施率 1 km 当たりの NO _x 排出量	メンテナンスプロセス メンテナンス技能者の教育訓練 定期メンテナンスのコンピュータによる通知	スケジュールどおりのメンテナンス頻度の追跡調査 車両の燃料 NO _x 効率の監視 車両の NO _x 排出量の四半期ごとの試験 達成した NO _x 削減量の年次評価
廃油の発生	要求事項に適合して廃油を管理する。	1 年以内にサービスセンターにおける廃油処分要求事項への適合を達成する。	サービスセンターにおける廃棄物管理の教育訓練実施計画を策定し，実施する。	訓練されたサービスセンター従業員の比率 廃棄物処分に関する不適合件数 処分された廃油の要求事項別の比率	廃棄物管理プロセス サービスセンター従業員の教育訓練実施計画	実施された，サービスセンター従業員の教育訓練の監視 廃油処分量及び処分方法の追跡調査